

# 神戸仁川芸術交流プロジェクト — 白衣の暮らし —

2018年2月6日 15:00~17:00 (発達科学部 A 棟 1 階 D ルーム)

人間発達環境学研究科学術ウィークス 韓国文化、環境、生活に焦点を当てた招聘作家による講演会を行います。昨年始動した神戸仁川芸術交流事業の第2弾として、韓国の写真家柳銀珪さん、仁川官洞ギャラリーを運営しながら日中韓交流を構想する戸田郁子さん、韓国伝統服作家尹炳玉さんの3名を神戸に招聘し、日中韓三国で普遍的に存在する「現代人の暮らしと伝統」をテーマとし、伝統文化の継承への取り組みや葛藤について、それぞれの立場で考えることを目標とする。この企画によって、より重層的な日韓双方の対話と交流が目指される。



[ 출처 ] 冬の日のヌビ 尹炳玉作品展 | 작성자 인천관동갤러리

## 写真家 柳銀珪

韓中修交直後の1993年に中国黒竜江省ハルビンに渡り、朝鮮族の生活や抗日独立運動の末裔たちの姿を撮影してきました。また、旧満洲地域を回って、朝鮮族の記念写真や史料写真などを収集し、中国朝鮮族の移住と定着の歴史を写真を通じて視覚的に証明する作業を行ってきました。これまでに、『忘れられた痕跡 独立運動の後裔たち』『忘れられた痕跡 写真で見る朝鮮族100年史』『延辺文化大革命』などの写真集を発表してきました。

## 韓国伝統服作家 尹炳玉

大韓民国重要無形文化財針線匠の具恵子(グ・ヘジャ)先生から伝統韓服を学び、現在も習っています。大韓民国重要無形文化財ヌビ匠の金海子(キム・ヘジャ)先生から伝統ヌビを習いました。大韓民国伝承工芸大展で天然染色部門で大統領賞を受賞した李炳瓚(イ・ビョンチャン)先生から染色工芸を習いました。2008年大阪にて、伝統ヌビのワークショップを行いました。2015年大阪府箕面市で日本の教え子さんたちと、韓服、閨房工芸、ヌビの展示会とワークショップを行いました。



## 文筆家 (仁川官洞ギャラリー) 戸田郁子

愛知県豊橋市生まれ。学習院女子短期大学卒業。1983年より韓国に留学、延世大学韓国語学堂、高麗大学史学科で学ぶ。編集者。1991年韓国人写真家と結婚。国際結婚にいたるまでの顛末、韓国大家族主義との遭遇を描いたエッセイ『ソウルは今日も快晴』が韓国でベストセラーとなる。